

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	77%	23%		<ul style="list-style-type: none"> ・十分確保されている、不足はない ・人数が多い日は密に感じることがある ・少し狭く感じるが園外活動などを積極的に取り入れてくれており問題ないように思う 	複数ある部屋や庭等使いスペースの有効活用をしている。雨天など外での活動が出来なくなった時には大勢でも活動できる部屋（建物）を作る計画を立てている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・適切と思う ・いつも手厚く見ていただき安心して預けられます 	定員10名に対し、正規職員7名（児発管・保育士・児童指導員等）が在籍し、令和2年度末より言語聴覚士を採用したことにより専門性の高い療育を提供できるようになったと思います。外部講師による専門指導に関しても昨年度の4月以降実施日を増やすことで子どもたちの療育や職員の指導の充実が図られている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	82%	18%		<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化はされていないが日常生活で注意する力もつくと思 	気づいたところではできる範囲で改修等行っているが、借家であるため大きな改修はできない。保護者様のご意見にもあるようにお子様方が危険を感知できるように工夫をしてサポートしていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・清潔感がある。 	毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等継続的に行っている。清掃の責任者を設け細かなチェックを週単位で行っている。感染症予防にも関係機関のガイドラインを確認し、徹底して行っている。
	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・要望を考慮した計画が作成されています ・家ではできなかったこともできるようになっていてたくさん刺激を受けていると思います 	現在まで行っている保護者様との定期的な懇談や状況に応じて緊急的な懇談等も行い、綿密に情報交換も行いながら、計画に反映していきます。コロナ禍で来所が難しい場合もありますので、オンラインでの懇談や電話での懇談など個別対応も今後引き続き行っていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				

適切な支援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援が行われています。 	一人一人の計画をミーティングやケース会議の中で伝達や討議することで全職員が把握し、支援に当たるようにしています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月プログラムの内容やそのねらいが書いてある計画書が配布されて子どももそれを見て楽しみにしている。 ・年長児クラスを作って訓練してほしい。 	活動計画には毎月担当の複数の職員が話し合い、決めていきます。マンネリ化を防ぐため、様々な情報を雑誌・インターネット・口コミ・聞き取り等で調査しています。子どもたちと話し合いもして、その意見も多数取り入れております。今後も毎日楽しんでもらえるように工夫して活動計画を作成していきたいと思っております。 年長組のお子様方への療育活動として昨年度よりお勉強の時間「ラーニングタイム」を始めました。今後も就学に向けた取り組みを少しずつ増やしていきたいと考えております。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	35%	47%	18%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響でできないと思います。また今は交流を持つことは避けていただきたいとも思います。 	交流と呼べるほどの機会がないため、どういった交流が持っていけるかを今は考えて、コロナ収束時には行動に移していけるよう努めていきたいと思っております。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に時間を掛けて説明してもらいました。 	契約時などにできる限り丁寧な説明に心がけています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいた支援内容の説明がなされています。 	ねらい・内容に関して納得いただけるよう丁寧な説明に心がけております。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（A^アルト・トルニグ等）が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・相談の他、教えてもらいたいこと等聞くとすぐに答えてもらっていて助かっています。 	細かな心配事があればこちらからも保護者様に連絡を入れて相談・すり合わせ等行っています。コロナ感染症対策により来所による懇談の他、オンライン・電話による懇談も実施しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・日々連絡帳やSNSを使って情報を伝えていただき共通理解が図られている 	良い報告も課題となる報告もどちらもできるよう、細かく状況の把握ができるようにしております。報告後、課題となった部分は保護者様との懇談等を通して共通理解・共通の支援等できるように努めております。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも懇談でたくさんの時間を作っていただき満足しています。 ・定期実施されている。 	保護者様がいつでも話しやすい環境・雰囲気作りをすることと、助言に対する知識を付けるための勉強を全職員今後も引き続き行っております。職員間の情報共有も欠かさず行っております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47%	29%	24%	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況では難しいと思います。 ・個別で保護者間で繋がり情報交換はしている。 	今後定期的に保護者様が集える機会を設ける等していきたい。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の整備がされているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 毎日連絡ノートやSNSで周知・説明されている。 	管理者・児発管・相談支援専門員が毎日対応できる体制を整えており、対応も迅速にできるようにしている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 細かな伝達をしてもらっている。 	軽微な情報はSNSを活用し、現代に合わせた対応ができています。情報の保護の部分においてSNSの活用を今後も十分に気を付けていく。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 毎月お便りの発行がされており情報発信されている。 SNSメッセージでの連絡等いただき感謝している。 	毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っている。ホームページの更新も行っているが、会員専用のみ閲覧可能なページの活用なども行っていき伝達の幅を広げていけたらと思います。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				厳重に管理しているが十分でないところもあるかもしれないため、点検も行いながら取り扱っていきたい。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練も毎月実施されており感染症では迅速な連絡もあり、しっかりしていると感じています。 	訓練は必ず毎月実施して、対策内容の伝達も確実に行っていききたい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 定期で毎月実施されています。 	毎月実施している。実施計画も毎月のおたよりで報告を行っている。今後は実施報告を保護者にも目に見えるようにしていききたい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> すごく楽しそうにしています。 先生たちを信頼しています。 毎日とても楽しみにしています。 	これからもみんなが楽しく通えるように魅力ある事業所の運営をしていきたいと思っています
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ゆずに通うまではこんなに落ち着いた姿を想像できませんでした。明らかに変わったのが目に見えてわかります。 大変満足しています。 いつも本当にありがとうございます。 	いつも温かく嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様方の心を育む取り組みや活動を考えて職員一丸となり療育やサポートに当たりたいと思います。もしご要望がありましたらいつでも遠慮なくお伝えください。お子様方が楽しく伸び伸びと過ごせるよう、また保護者様が安心してお子様を預けられるように毎日明るく笑顔を絶やさずにやっていきたいと思っています。

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	10%		・人数が多いときは狭く感じる	複数ある部屋や庭等使いスペースの有効活用をしている。雨天など外での活動が出来なくなった時には大勢でも活動できる部屋（建物）を作る計画を立てている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				定員10名に対し、正規職員7名（児発管・保育士・児童指導員等）が在籍し、令和2年度末より言語聴覚士を採用したことにより専門性の高い療育を提供できるようになったと思います。 外部講師による専門指導に関しても昨年度の4月以降実施日を増やすことで子どもたちの療育や職員の指導の充実が図られている。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	65%	25%	10%		気づいたところはできる範囲で改修等行っているが、借家であるため大きな改修はできない。 保護者様のご意見にもあるようにお子様方が危険を感知できるように工夫をしてサポートしていきたい。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%			・個々のニーズをしっかりとらえている	現在まで行っている保護者様との定期的な懇談や状況に応じて緊急的な懇談等も行い、綿密に情報交換も行いながら、計画に反映していきます。 コロナ禍で来所が難しい場合もありますので、オンラインでの懇談や電話での懇談など個別対応も今後引き続き行っています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%			・充実していると思う。	活動計画には毎月担当の複数の職員が話し合い、決めていきます。マンネリ化を防ぐため、様々な情報を雑誌・インターネット・ロコミ・聞き取り等で調査しています。子どもたちと話し合いもして、その意見も多数取り入れております。今後も毎日楽しんでもらえるように工夫して活動計画を作成していきたいと思えます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	45%	30%	25%	・機会があるかわからない ・コロナ禍でないのは仕方ない	長期休み中は職場体験等を通して、小中学生の受け入れをしておりその際に交流をしている。 少しずつ交流の場が増えるように進めていきたいと思っています。 交流と呼べるほどの機会がないため、どういう交流が持っていけるかを今は考えて、コロナ収束時には行動に移していけるよう努めていきたいと思えます。
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				契約時や必要に応じてにできる限り丁寧な説明に心がけています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			・細かく伝えてもらっています。 ・難しいかもしれないがもう少し時間を取っていただくと良いと思う	良い報告も課題となる報告もどちらもできるよう、細かく状況の把握ができるようにしております。報告後、課題となった部分は保護者様との懇談等を通して共通理解・共通の支援等できるように努めております。

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 相談・面談していただき感謝しています。 	保護者様がいつでも話しやすい環境・雰囲気作りをすることと、助言に対する知識を付けるための勉強を全職員今後も引き続き行っております。職員間の情報共有も欠かさず行っております。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	45%	55%		<ul style="list-style-type: none"> ぜひ欲しい機会です。 	今後定期的に保護者様が集える機会を設ける等していきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				必要に応じた対応に心がけている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				軽微な情報はSNSを活用し、現代に合わせた対応ができています。情報の保護の部分においてSNSの活用を今後も十分に気を付けていく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 定期的に出ているのでありがたい 	毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っている。ホームページの更新も行っているが、会員専用のみ閲覧可能なページの活用なども行っていき伝達の幅を広げていけたらと思います。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				厳重に管理しているが十分でないところもあるかもしれないため、点検も行いながら取り扱っていききたい。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%				訓練は必ず毎月実施して、対策内容の伝達も確実に行っていききたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				毎月実施している。実施計画も毎月のおたよりで報告を行っている。今後は実施報告を保護者にも目に見えるようにしていきたい。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				これからもみんなが楽しく通えるように魅力ある事業所の運営をしていきたいと思っています
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> 急な要望にも応えていただき感謝しています。 	いつも温かく嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様方の心を育む取り組みや活動を考えて職員一丸となり療育やサポートに当たりたいと思います。もしご要望がありましたらいつでも遠慮なくお伝えください。お子様方が楽しく伸び伸びと過ごせるよう、また保護者様が安心してお子様を預けられるように毎日明るく笑顔を絶やさずにやっていきたいと思っています。

ゆず 児童発達支援 事業所評価集計表（事業者向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		複数あるお部屋の活用方法を見直し、人数の多い日は職員を振り分けて活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切である	○			定員10名に対し、正規職員7名（児発管・保育士・児童指導員等）が在籍し、令和2年度末より言語聴覚士を採用したことにより専門性の高い療育を提供できるようになったと思います。外部講師による専門指導に関しても昨年度の4月以降実施日を増やすことで子どもたちの療育や職員の指導の充実が図られている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			借家のためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、職員ができる範囲で設備の整備を行ったり、移動時など適宜サポートしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等行っている。清掃にはチェック用を使用し、誰が掃除しても同じレベルになるような取り組みをしている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			人事考課を導入しPDCAサイクルを意識して業務にあたっている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	外部評価は未実施
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修は計画表を作成しそれに基づき実施 外部研修は必要に応じて参加しているが昨年度はコロナの影響もありほとんど参加できなかった
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者との面談を定期的実施している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専門指導職員とも連携し効果的なツールを使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」は適切な選択がなされている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画を全職員に周知し計画に基づいた支援が展開できるよう取り組んでいる
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当する
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			全体のバランスを考慮し作成している	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎朝・夕に当日・翌日の利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有している	○		毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には児発管が参加している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		直接的な連携は少ないが、機会があれば関係機関との連絡体制を取り支援に繋げている
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報交換・意見交換を通じ情報共有と相互理解を図っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児発から放テへ切り替える児童が多くいるため要望に応じ積極的に会議へ参加し申し送りや話し合い等行っている
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		交流を持ってくれる保育園等を探し、今後定期的に交流の場を設けていきたい
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		矢板市の主催する会議へ児発管が参加している
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
保護者への説	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		毎月実施している個別学習後の面談を通し行っている
	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・変更時に行っている
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分な可能性があるため、保護者からの意見ももらい、より丁寧な説明を行っていきたい
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別学習後の面談は定期的実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会等はないが、保護者が集う場の提供は毎月実施しているがコロナの影響により昨年度はほとんどが中止となった 今後実施した際は多くの保護者に参加してもらえるよう内容を工夫していきたい

明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応に心がけている
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS（LINE@）を活用し迅速かつ確実な情報発信に心がけている
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		事務室にて管理している
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードの使用等工夫している
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域で開催されるイベントへの参加している 法人主催の地域交流行事を実施した
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しており、職員・保護者へマニュアルの説明や訓練の実施内容がわかるよう伝達している
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施している
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時の調査票にて確認している
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	○		指示書の確認は必要に応じて行っているが、基本的には保護者からの聞き取りによって把握し、支援に繋げている
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットに関する実態調査実施し報告してもらいそれを基に研修や話し合いを行っている
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修計画に基づき実施する 県障害福祉課主催の出前講座を実施した
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束の実態がない

ゆず 放課後等デイサービス 事業所評価集計表（事業者向け）
一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いい え	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			建物を購入して増やし、人数の多い日は職員を振り分けて活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、正規職員7名（児発管・保育士・児童指導員等）が在籍し、令和2年度末より言語聴覚士を採用したことにより専門性の高い療育を提供できるようになったと思います。外部講師による専門指導に関しても昨年度の4月以降実施日を増やすことで子どもたちの療育や職員の指導の充実が図られている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		借家のためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、職員ができる範囲で設備の整備を行ったり、移動時など適宜サポートしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			人事考課を導入しPDCAサイクルを意識して業務にあたっている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は未実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修は計画表を作成しそれに基づき実施 外部研修は必要に応じて参加している 今年度は県障害福祉課主催の出席講座も実施した
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談を定期に実施している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門指導職員とも連携し効果的なツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当する
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている 学年、年齢に応じた活動やSSTにも注力している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			年間の課題・目標を月毎に決め、それに基づいた月報と日報を作成して支援にあたっている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体のバランスを考慮し作成している 子どもたちによる話し合いで決めた活動も月に数度取り入れ、細かな計画は職員が作成し実施している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝・夕に当日・翌日の利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		会議には児発管が参加している	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校によっては毎月確認調整を行い、その他でも年度初め、学期の切り替わり時期等を含め訪問や電話連絡において調整を行っている また行事年間計画や月間計画をいただく等学校行事の把握に努めており、職員間でも共有している	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			直接情報交換・共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		未だ事例がない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		近隣の児童クラブや児童館等と連携し今後定期的に設けていきたい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			矢板市の主催する会議へ児発管が参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			毎月実施している個別学習後の面談を通し行っている
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時・変更時に行っている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			個別学習後の面談は定期的実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会等はないが、保護者が集う場の提供は毎月実施している 今後多くの保護者に参加してもらえるよう内容を工夫していきたい
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速な対応に心がけている
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月お便りを発行している 専用のSNS（LINE@）を活用し迅速かつ確実な情報発信に心がけている
	㉕	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			事務室にて管理している
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードの使用等工夫している
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域で開催されるイベントへの参加している 法人主催の地域交流行事を夏に実施した

	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しており、職員・保護者へマニュアルの説明や訓練の実施内容がわかるよう伝達している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月実施している
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修計画に基づき実施する
非常時の対応	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の実態がない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		指示書の確認は必要に応じて行っているが、基本的には保護者からの聞き取りによって把握し、支援に繋げている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットに関する実態調査実施し報告してもらいそれを基に研修や話し合いを行っている